

鍋谷峠道路は、地域を結ぶ「生活の道」！

鍋谷峠道路とは

- 一般国道480号鍋谷峠道路は、平成29年4月1日に大阪府和泉市父鬼町から和歌山県伊都郡かつらぎ町平に至る約4.1kmの区間を2車線で開通しました。
- 土砂崩落等による通行止め回避、走行時間の短縮、峠部の線形不良区間の解消等を目的に計画された道路です。

拡大図（鍋谷峠道路）



位置図（鍋谷峠道路）



【WEBアンケート結果】

道路利用者の皆様からの声！！

▼快適性の向上を実感している利用者の声



- 以前は通る候補から外れていたが**誰でもスムーズに通ることができる**。(堺市50代男性)
- 薄暗く狭い**酷道から一変**した。くねくね道からほぼまっすぐの快適な道路。(橋本市50代男性)
- 旧道はダンプカーなどの大型車との離合が難しかったです。また、父鬼地区の道路も狭かったので**鍋谷峠道路ができて、事故も少なくなった**と思います。(九度山町50代男性)

▼移動時間の短縮効果を実感している利用者の声



- 和泉市まで**短時間でスムーズに行くことができ非常に良かった**。(紀の川市20代男性)
- コストコやららぽーと和泉に行きやすくなった**。(紀の川市50代女性)
- 南河内方面の**大学病院に定期的に通うので、時間短縮が出来て良かった**。(和歌山市50代女性)
- 狭い峠を通らなくてよくなったので、**大幅に時間短縮**できる。(和歌山市50代男性)

▼その他効果を実感している利用者の声



- ドライブする際に、**移動する範囲が広がり時間を有意義に使えている**。(岸和田市40代女性)
- 大雨や大雪のときに**迂回路として良い**。(橋本市50代男性)
- 冬季の、**凍結の心配が無くなった**。(泉南市60代男性)

WEBアンケート調査概要

- 調査方法：WEBアンケート調査 ○調査期間：令和3年7月9日～7月14日
- 調査対象：鍋谷峠道路の利用実績がある地域の居住者のうち1年に1回以上の頻度で鍋谷峠道路を利用したドライバー計880人

自治体のからの期待の声！

■大阪府知事の声

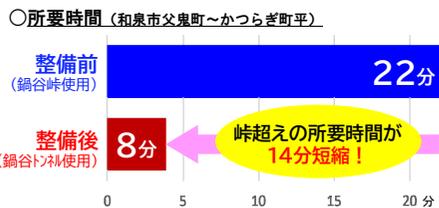
国道480号鍋谷峠道路の開通により、安全性やアクセス性が向上し、災害時の通行止めの解消や、救急搬送時の主要路として利用される等、充実した道路ネットワークができた実感しています。また、地域間の交流が拡大し、それぞれの観光資源を多くの方に楽しんでもらうことで、これまで以上に関西がにぎわうことを期待しています。

■和歌山県知事の声

国道480号鍋谷峠道路の開通により、和歌山県と大阪府の交流・連携強化が図られ、就業圏の拡大や観光振興、企業立地の進展などの効果が発現しています。こうした効果を持続し、今後、ポストコロナにおける観光産業の再生・発展や大阪・関西万博の開催などの効果を、県内にとどまらず近畿全体に波及させる上で、京奈和自動車道などと一体となって当該道路が大きな役割を担うものと大いに期待しています。

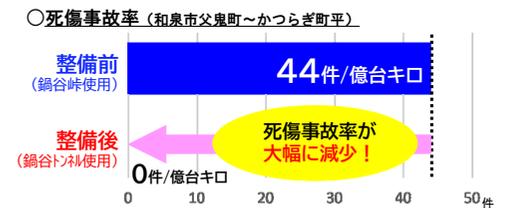
主な整備効果

整備前後の所要時間変化



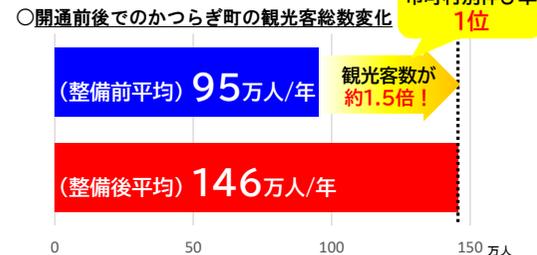
出典：ETC2.07「ろーぶ」（整備前）H28年9～11月平日（整備後）H29年9～11月平日

整備前後の死傷事故率変化

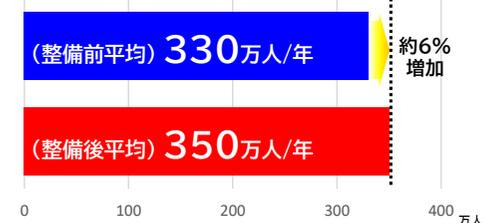


出典：ITARDA事故データ（整備前）H25～H28年集計値（整備後）H30～H31年集計値

災害時の代替路の確保



(参考) 和歌山県全域の観光客総数変化



出典：和歌山県観光動態調査結果 整備前平均はH20～H28年、整備後平均はH30～R1年の平均値を使用